

第3回地域包括支援センター・介護予防に関する意見交換会

困難事例対応フローシートの 活用について

神奈川県綾瀬市健康介護課・
綾瀬市地域包括支援センター
見上 孝雄

綾瀬市の概要

- 人 口 83,727人(19年8月1日現在)
- 65歳以上人口 14,320人
- 高 齢 化 率 17.10%

- 認 定 者 数 1,618人

- 地域包括支援センター 1か所(直営)
- 在宅介護支援センター 3か所(委託)

地域包括支援センターへの相談

▶ 相談件数(18年度) 1,048件

その中で

虐待の相談 37件

困難事例の相談 25件

困難事例への対応

大和保健福祉事務所管内高齢者虐待防止
SOSネットワークシステム

(平成13年3月立上げ)

で作成したフロー図内のチーム検討会を活用して対応

資料1を参照

チーム検討会は

- 開催する機関の取決めはなく
- 日程調整や文書での開催通知を省略
- 関係者に電話で参加を呼びかけ、その時に参加のできる者で行う
- 参加のできない者からは事前に情報を収集
- 結果を後で連絡

※1機関だけの対応ではなくチームアプローチを原則

緊急性がない時などは、ケース会議やサービス担当者会議などの時に開催

チーム検討会では

- 関係機関が把握している情報を基に話し合い
- 関係機関が共通認識を持つ
- 対象者・関係機関が抱えている課題とニーズを整理
- 課題等を解決するための対応と各機関が今後担う役割を決める

チーム検討会後は

- 各関係機関の対応状況が随時、地域包括支援センター(ケアマネジャー)に集約
- 集約された情報は必要に応じて他の関係機関へ提供

チーム検討会を開催することにより

- 多職種による情報交換や検討を行うことにより、対応の幅が広がる
- 多方面から対象者・関係機関を支援することが可能
- 対象者、家族への両者の対応が生じた場合に対応を別々の専門職が行うことで両者の支援が可能
- 現在行われているサービス提供や支援が対象者にとってどうなのかを検証することができる

【チーム検討会の開催事例】

処遇困難の状況

被害妄想から攻撃的な口調で民生委員とヘルパーを罵倒する。ケアマネジャーへ本人、民生委員、ヘルパーからそれぞれ苦情の連絡がある。

チーム検討会の状況

- 地域包括支援センターが民生委員、ヘルパー、ケアマネジャーに開催を呼びかけ
- 妄想の状態と苦情の内容を確認
- 保健師から被害妄想に対する対応方法を説明
- 民生委員とヘルパーの相談窓口を地域包括支援センターとする
- 受診を促すため、ケアマネジャーと地域包括支援センターで本人宅を同行訪問

しかし
チーム検討会を開催していて

- 関係機関がそれぞれの大変さを主張する場になってしまう
- 専門職が自分の専門性を主張する場になってしまう
- 資料に統一性がなく、検討する事項が不明確になる
- 時間をかけても話し合いをしても何も見出せない

などの課題が出てきた

そこで

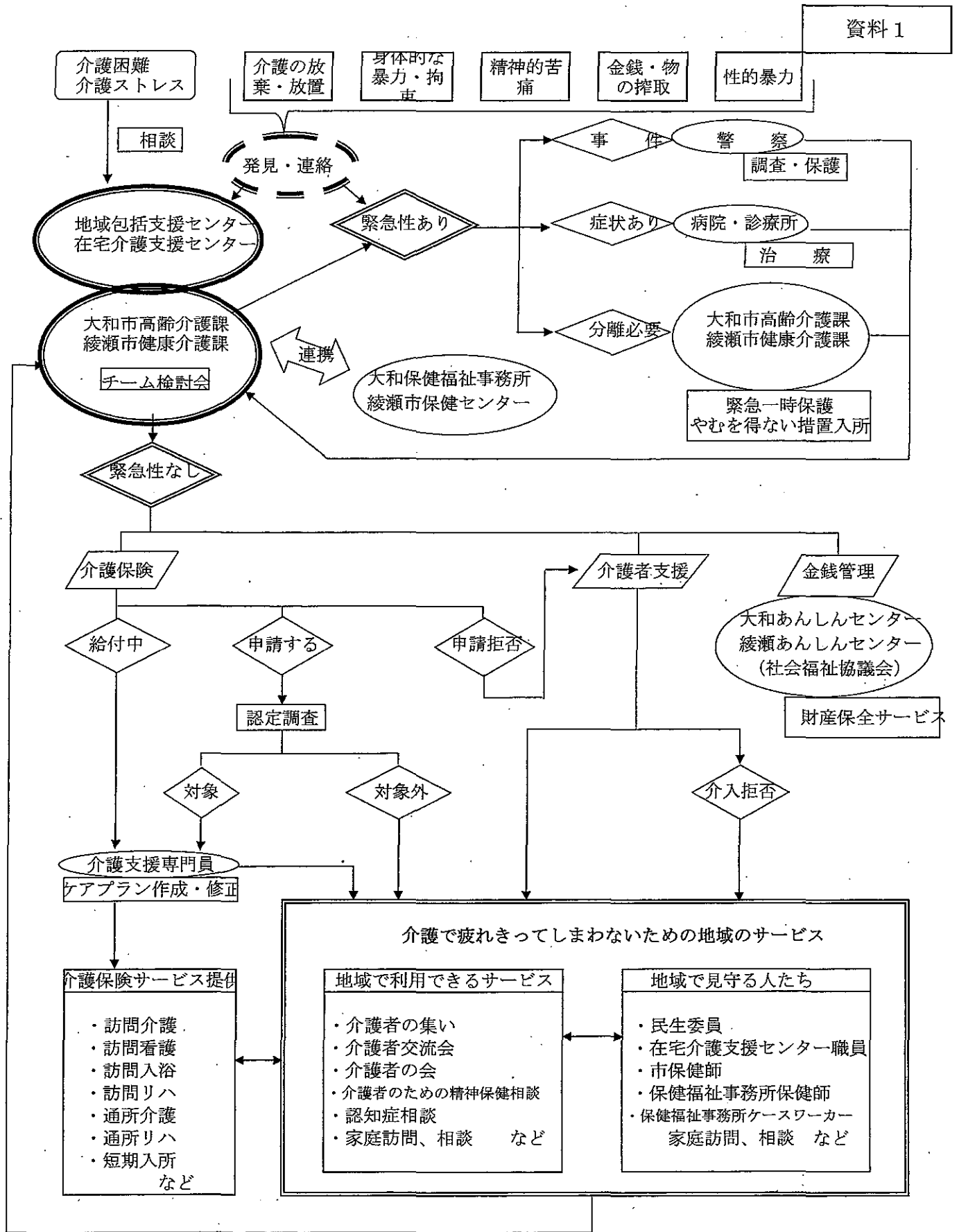
困難事例対応フローシートを作成

資料2を参照

地域包括支援センターで
フローシートを作成し活用することで

- 地域包括支援センターのネットワーク構築のひとつ
の手段にも
- 統一した様式を利用し、検討する事項を明確にする
- 内容を分類し、困難な状況を簡潔に整理
- 現在の支援内容と必要な支援の整理
- 関係機関の役割を確認
- 検討した内容を同じ様式で保管

大和保健福祉事務所管内高齢者虐待防止SOSネットワークシステムフロー図



相談日	年 月 日
相談者 職種・氏名	

対象者氏名	生年月日	年 月 日 (歳)
住 所		介護度

関係者による検討会において、修正・補足を行う。

分 類
<input type="checkbox"/> 本人に精神疾患(疑いを含む)がある <input type="checkbox"/> 介護者に精神疾患(疑いを含む)がある <input type="checkbox"/> 本人がアルコール依存症(疑いを含む) <input type="checkbox"/> 介護者がアルコール依存症(疑いを含む) <input type="checkbox"/> 介護者に知的障害がある <input type="checkbox"/> 借金などで収入が少なく、生活に支障がある <input type="checkbox"/> 在宅の意志が強いが独居等で限界 <input type="checkbox"/> 必要と思われるサービスの利用を拒否 <input type="checkbox"/> 受診を勧めるが拒否 <input type="checkbox"/> 周辺症状を伴う認知症 <input type="checkbox"/> 関わる者に依存的 <input type="checkbox"/> 関わる者を非難する <input type="checkbox"/> 意思決定が困難だが代わる者がいない <input type="checkbox"/> 悪質商法などの被害(疑いを含む) <input type="checkbox"/> 不適切な介護に固執する <input type="checkbox"/> セルフネグレクト(自己放棄) <input type="checkbox"/> その他()

困難な状況は(簡潔に)

現在の支援(支援者)と内容は(簡潔に)	
支援(支援者)	内 容

現在の支援(支援者)の見直し、継続を含めて困難な状況に対してどのような支援(支援者)が必要とされるか(簡潔に)
対象者に対して
支援者に対して

意欲や希望、資産など今後の支援に活用できるものはあるか(簡潔に)

必要とされる支援(支援者)の中ですぐに導入の可能な支援をどのように行うか(簡潔に)
対象者に対して
支援者に対して

導入に当たっての留意点はあるか

必要だがすぐに導入ができない支援(支援者)はあるか、その理由は(簡潔に)対象者に対して
支援者に対して

検討会において調整を行う	
支援に関わる機関と支援内容は(簡潔に)	
機 関 名	内 容

支援者(関わっている者すべてにチェックを) <input type="checkbox"/> 同居の家族 <input type="checkbox"/> 別居の家族 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> サービス事業者(種類) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input type="checkbox"/> 在宅介護支援センター <input type="checkbox"/> 保健福祉事務所 <input type="checkbox"/> 市保健師 <input type="checkbox"/> 市高齢者福祉担当 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 地区社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 民生委員 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 老人クラブ <input type="checkbox"/> その他()
--

19.3.1 ケアマネ Aさんから地域包括支援センターに相談

対象者 Bさん 大正〇年〇月〇日生（80歳）

綾瀬市早川□□□ 要介護1

相談内容

本人、独居で身寄りもなくヘルパーの支援を受けながら生活をしているが、被害妄想があり、その対応に苦慮している。

通帳、財布を隠すが、その場所がわからなくなり「ヘルパーに盗まれた」と時間に関係なく電話がある。電話で話を聞くだけでは治まらず、家まで行って話を聞き、いっしょに捜さないと警察に電話をしてしまう。

2～3日後に訪問をすると自分で持っており「ヘルパーが引き出しに返してくれた」と言う。

ヘルパーが週3回、1回当たり1時間半の家事援助をしているが、見つからない時は、「盗んだものを返せ」と援助ができなくなるほど責め続けるため事業所から契約を解除されてしまう。今まで自分で家事をしたことがなく、ヘルパーを利用しなければ今の生活を続けられないが「ヘルパーがなくなつたのでやめる」と自分で契約を解除してしまうこともある。すでに事業所を3か所変更、ヘルパーも10人代わっている。この状況が続くと受けてくれる事業所がなくなってしまう。

専門医の受診の必要性を月に1回受診をしている内科の主治医に相談をしたところ、以前から受診を勧めているが拒否されると言っていた。これ以降、こちらからも何度か勧めてみたが拒否された。

「年金から10万円づつの貯金をしているので、今ではかなりのお金が貯まっている。」とよく言っていたので、先日、施設入所を勧めてみたが「今の生活を変えるつもりはない」と断られた。

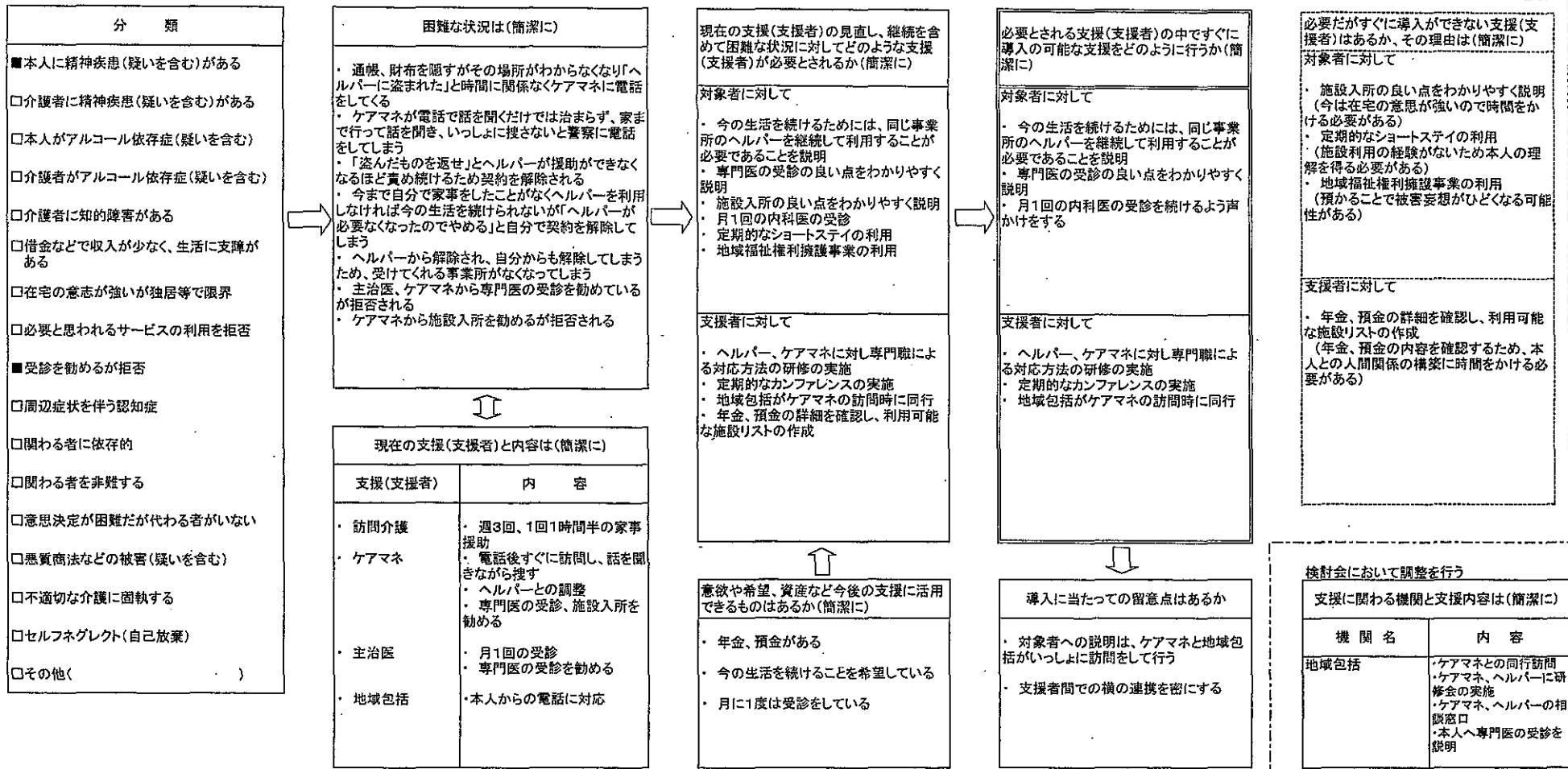
ヘルパーとの連絡調整に手間を取られ、本人には振り回されている。専門医の受診や施設入所は拒否され、今後、どう対応していったら良いのだろうか。

地域包括支援センターへも本人から「ヘルパーにお金を盗まれるので何とかしてほしい」と何度も相談の電話があったので、5、6回訪問したが家に入れてもらえず、話してもらえなかった。

相談日	19年 3月 1日
相談者 職種・氏名	ケアマネジャー A

対象者氏名	B	生年月日	T O年 O月 O日 (80歳)
住所	綾瀬市早川□□□	介護度	要介護1

関係者による検討会において、修正・補正を行う。



支援者(関わっている者すべてにチェックを)

- 同居の家族 別居の家族 ケアマネジャー サービス事業者(種類 訪問介護) 地域包括支援センター 在宅介護支援センター 保健福祉事務所
 市保健師 市高齢者福祉担当 社会福祉協議会 地区社会福祉協議会 民生委員 ボランティア 老人クラブ その他()

